

人口減少社会に対応する行政運営のあり方研究会
「専門職員の人材確保」作業部会 状況報告

平成 3 1 年 2 月 2 5 日

1 作業部会設置の目的（ねらい）

専門職員の人材確保については、行政経営の各分野で大きな課題となっていることから、県と市町村の協働・連携による解決方策を検討していく必要がある。

当面は、最も課題提起の多かった建設技術職員の人材確保について検討を進める。

2 平成 3 0 年度の活動実績

平成 2 9 年度第 2 回総会において作業部会を設置し、次のとおり活動を行った。

回	年月日	主な活動（協議）内容
第 1 回	平成 3 0 年 6 月 6 日	(1) 主な検討テーマについての提示 ①「併任」制度による共同の人員配置 ②再任用職員配置の広域的な調整 ③人材派遣制度 (2) 建設技術職員の人材確保に関する実態調査の実施 (3) 今年度の活動計画について
	平成 3 0 年 9 月 2 0 日 (文書照会)	・建設部門の人材確保に関する課題抽出等調査
	平成 3 0 年 1 0 月 9 日～ (個別ヒアリング)	・課題抽出等調査において、課題や事務に関する支障等を示した市町村への個別訪問による現状の確認、課題整理、連携の可能性のある業務についての意見交換等
第 2 回	平成 3 0 年 1 0 月 2 5 日	(1) 建設技術職員の人材確保に関する実態調査及び建設部門の人材確保に関する課題抽出等調査結果 (2) 人材確保に関する今後の検討の方向性について

3 活動における課題

- ・各市町村とも非常に厳しい行財政運営を実施しており、個々の市町村の組織を維持したまま他団体からの職員派遣等によりマンパワーの確保を行うことは困難な状況。
- ・各市町村の建設部門の別組織への集約化や I C T 技術を活用した業務効率化などにより、持続的に建設部門を維持・運営していくことのできる体制を検討する必要。

4 今後の活動予定

○組織の共同設置等及び事務の一部事務組合化の可能性の検討

- ・技術職を十分配置できず建設部門の人員に不足を生じている市町村において、所管課同士の統合による組織の共同設置や事務集中処理組織による人材の集約化等の可能性を検討。
- ・技術職の採用や技術・ノウハウの継承を確保するため、設計・積算など共通性が高い業務を対象とした一部事務組合化の可能性を検討。

○A I ・ロボティクス等の I C T 技術を活用した業務効率化の検討

- ・A I、ロボティクス、ドローン等の I C T 技術を活用した業務効率化により、建設部門の効果的・効率的な運営を行うための方策を検討。